

【世界銀行東京事務所 Eニュース 673号】ブログ：世界エイズデー(12月1日)：1998年以降、新たなHIV感染は40%減少、他

世界銀行東京事務所 Eニュース 第673号 2019年11月29日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) ブログ：世界エイズデー(12月1日)：1998年以降、新たなHIV感染は40%減少
- (2) 特集：ネパールと日本の専門家、ネパールにおける強靱な再生可能エネルギー分散型電力システム構築の最適なソリューションを議論
- (3) セミナーのお知らせ
- (4) 主なニュース

- (1) ブログ：世界エイズデー(12月1日)：1998年以降、新たなHIV感染は40%減少

12月1日は世界エイズデーです。新たにHIVに感染した人の数は1998年の約300万人から2018年には170万人と、40%減少しています。詳しくはブログをご覧ください。

ブログ： <http://wrlld.bg/dy0D30pXtts>

- (2) 特集：ネパールと日本の専門家、ネパールにおける強靱な再生可能エネルギー分散型電力システム構築の最適なソリューションを議論

世界銀行は、ネパール政府および代替エネルギー促進センター（AEPC）と共同で、「ネパールにおける気候変動や災害に強い再生可能エネルギー分散型電力システムの強化」に関するワークショップを、9月10日～11日の2日間にわたり、ネパールの首都カトマンズにて開催しました。このワークショップには、ネパール政府、開発パートナー、日本のエネルギーセクターから専門家チームが招かれ、ネパールにおける強靱な再生可能エネルギー分散型電力システムの構築方法に関する情報がもたらされました。

特集： <http://wrlld.bg/cFA130pXtsJ>

- (3) セミナーのお知らせ

■繁栄の実現：農業におけるテクノロジーと生産性向上
セミナー

日時：2019年12月9日（月）午後3時～4時30分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行は生産性に関する研究プロジェクトを進めており、全4巻の報告書を刊行しています。2019年9月に第4弾の報告書「繁栄の実現：農業におけるテクノロジーと生産性向上」を発表し、途上国が貧困を撲滅し、高まる食糧需要に対応して気候変動の悪影響に対処するためには、農業分野のイノベーションと農民によるテクノロジー活用を飛躍的に拡大する必要があると指摘しています。同報告書の筆頭著者であるウィリアム・マロニー世界銀行公正な成長・金融・制度（EFI）担当チーフエコノミストの来日の機会を捉え、同報告書の主なポイントをご紹介しますセミナーを開催します。

詳細・お申込み： <http://wrlld.bg/xtts30pXtBX>

■アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す
世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第27回

日時：2019年12月10日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行が7月に発表した報告書「アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す」では、仕事をめぐる環境を根本的に変化させようとする技術進化や破壊的な革新に途上国が直面しつつあるなかで、サブサハラ地域は他の地域以上にデジタル技術の適応がもたらす恩恵を享受することができると述べています。本セミナーでは、テレビ会議で同報告書の執筆担当者が主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/qMZN30pTj3n>

■国際金融公社（IFC）で働く～玉木 圭 インベストメント・オフィサー
キャリアセミナー

日時：2019年12月18日（水）午後6時30分～午後8時

場所：米州開発銀行 アジア事務所

内容：世界銀行グループでは、日本人の採用を積極的に行っており、海外で活躍する日本人職員が来日する際に、皆様に世界の開発課題や世界銀行グループの活動を紹介するセミナーを実施しています。

今回のセミナーでは、2018年のリクルートミッションで採用されたインベストメント・オフィサーの玉木圭より、IFCの活動や自身の経歴、投資部門での業務をご紹介します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/woR630pTj4Q>

(4) 主なニュース

■インドネシア：将来の自然災害に対する備え

11月27日、世界銀行理事会は、インドネシアの災害レジリエンスへの包括的なアプローチを開発する取り組みを支援するために、インドネシア災害レジリエンス・イニシアチブ・プロジェクト（IDRIP）に対する1億6,000万ドルの融資を承認しました。この資金は、中央政府および選択された地方政府による、自然災害管理、およびインドネシア国内の地球物理学的早期警戒サービスの準備強化に向けた優先投資に充てられます。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/LuJk30pXqwE>（英語）

■ネパール：子どもと若者のための雇用・教育プログラムを支援

11月27日、ネパール政府と世界銀行は、ネパールの若者向けの雇用サービスと労働市場の成果を改善し、学校セクター開発計画を継続するために、2つの支援に署名しました。雇用促進と雇用支援サービスを強化することで、10万人の若者（特に女性）が恩恵を受ける予定です。また、学校セクター開発計画では、教育の質、公平性、効率性を改善することにより、年間700万人以上の学生と18万人以上の教師と幼児教育開発（ECED）ファシリテーターに利益をもたらす見込みです。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/2EyF30pXqwH>（英語）

■ナイジェリア：デジタル経済の可能性を最大限に引き出すには、戦略的な投資と支援が必要

世界銀行グループは11月28日、初となる「ナイジェリア デジタル経済診断報告書」を発表しました。報告書では、ナイジェリアは強力なモバイルブロードバンドインフラストラクチャーと活力あるデジタル起業家が存在するサブサハラ・アフリカ地域最大のモバイル市場である一方、農村部におけるインフラとインターネットアクセスの欠如が重要な課題であるとし、同国のデジタル改革始動に向けた戦略的投資と支援の必要性を指摘しています。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/3hZ930pXqwJ>（英語）

■東ティモール：支線道路改修で安全性と経済的機会を向上

11月26日、世界銀行理事会により5,900万ドルの東ティモール支線道路プロジェクトが承認され、コーヒー産地であるグレノから、同国で最も人気のある観光地の一つであるハトバイリコまでを結ぶ44.3Kmの道路修復を開始する予定です。プロジェクトの第2段階では、ハトバイリコからディリーアイナ口道路までをつなぎ、観光客、農民、コーヒー生産者の道路アクセスと安全性が劇的に改善される見込みです。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/4p1q30pXqwL>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

世界銀行東京事務所 Eニュース 第672号 2019年11月22日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) ブログ：コミュニティの強靭性を高めるための「レシピ」
- (2) 特集：ラテンアメリカの都市における総合的な都市開発および公共交通プロジェクト（TOD）の実施
- (3) 特集：第7回アフリカ開発会議（TICAD7）における都市開発に関するセッション
- (4) セミナーのお知らせ
- (5) 主なニュース

(1) ブログ：コミュニティの強靭性を高めるための「レシピ」

地震や洪水などの自然災害は誰にでも影響を及ぼしますが、自然災害による打撃を最も深刻に受けるのは貧困層の人々です。世界銀行の支援を受け、スリランカ政府が立ち上げた新しいプログラムでは、特に災害の被害を受けやすい社会・経済的グループの人々を考慮し、早期警戒システムの改善および、洪水対策インフラの導入が行われます。世界銀行と防災グローバル・ファシリティ（GFDRR）は、お年寄りや妊婦、障害を持つ人々など、すべての人々のための強靭性を高める（resilience for all）ためのレシピ（手段）を開発しようとしています。

ブログ： <http://wrlld.bg/RdPZ30pVnvC>

(2) 特集：ラテンアメリカの都市における総合的な都市開発および公共交通プロジェクト（TOD）の実施

公共交通指向型開発（TOD）は、土地利用、公共交通計画、都市デザイン、都市再生、不動産開発、資金調達、土地開発利益還元およびインフラ整備の要素を一体化することにより、持続可能な都市開発が実現します。世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）は、2019年9月16日～17日の2日間、ブラジルのサンパウロでワークショップを開催し、東急株式会社からTODの専門家として太田雅文氏を招聘し、ラテンアメリカの実務者に日本の経験と専門知識を共有しました。

特集： <http://wrlld.bg/jbW230pVnxq>

(3) 特集：第7回アフリカ開発会議（TICAD7）における都市開発に関するセッション

世界銀行 都市・防災・強靭性・土地グローバルプラクティスは、世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）、防災グローバル・ファシリティ（GFDRR）とともに、2019年8月28日～30日に横浜で開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD7）サイドイベントに参加しました。この中で、サメ・ワーバ世界銀行 都市・防災・強靭性・土地グローバルプラクティス担当局長は、アフリカ地域の持続可能な開発の鍵は政策改革、公共・民間のインフラ投資および強靭性の強化であると強調しました。

特集： <http://wrlld.bg/kz9Y30pVnz8>

(4) セミナーのお知らせ

■世界開発報告（WDR）2020：グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進

世界銀行グループ、JICA研究所共催セミナー

日時：2019年11月25日（月）午後4時～午後6時

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行グループでは毎年1回、経済、社会、環境などタイムリーなテーマを取り上げ、課題分析と政策提言をまとめる「世界開発報告」（WDR: World Development Report）を出版しています。10月9日「グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進」をテーマにしたWDR2020年版が発表されました。WDR2020の執筆担当共同局長の一人であるアディティヤ・マトゥー世界銀行東アジア地域担当チーフエコノミストが、同報告書の主なポイントをご紹介しますセミナーを開催します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/pbo430pTiWU>

■一次産品市場の見通し 2019年10月版

世界銀行モーニングセミナー（第53回）

日時：2019年11月27日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行が毎年2回発行する報告書「一次産品市場の見通し 2019年10月版」の最新版が10月29日に発表されました。同報告書では、エネルギー価格と金属価格は2019年の急落に続き、2020年も引き続き下落するとの見通しを明らかにしています。本セミナーでは、同報告書を含め、世界銀行の一次産品価格・市場に関する分析のとりまとめを担当するジョン・バフェス世界銀行マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス見通しグループ上級農業エコノミストがテレビ会議でワシントンより、同報告書の主なポイントをご紹介します。皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/uPeB30pTj11>

■アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す

世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第27回

日時：2019年12月10日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行が7月に発表した報告書「アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す」では、仕事をめぐる環境を根本的に変化させる技術進化や破壊的な革新に途上国が直面しつつあるなかで、サブサハラ地域は他の地域以上にデジタル技術の適応がもたらす恩恵を享受することができると述べています。本セミナーでは、テレビ会議で同報告書の執筆担当者が主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/qMZN30pTj3n>

■国際金融公社（IFC）で働く～玉木 圭 インベストメント・オフィサー

キャリアセミナー

日時：2019年12月18日（水）午後6時30分～午後8時

場所：米州開発銀行 アジア事務所

内容：世界銀行グループでは、日本人の採用を積極的に行っており、海外で活躍する日本人職員が来日する際に、皆様に世界の開発課題や世界銀行グループの活動を紹介するセミナーを実施しています。

今回のセミナーでは、2018年のリクルートミッションで採用されたインベストメント・オフィサーの玉木圭より、IFCの活動や自身の経歴、投資部門での業務をご紹介します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/woR630pTj4Q>

■カンボジア：雇用の質は向上するも、グローバル市場の恩恵を受けるには新政策が必須

世界銀行は11月19日、カンボジアの雇用状況について報告書を発表しました。労働者の63%は農業等に携わる低所得者です。雇用の多様性や質は向上してきたものの、増え続けるアジアの中産階級や貿易パターンの変化等を踏まえ、カンボジアが輸出主導の経済において次の段階へと進むには、雇用戦略を見直すことが必要だと指摘しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/5iKJ30pVmez>（英語）

■ザンビア：貧しい子供たちにも中等教育の機会を

IDAプロジェクトの一環として、農村部で小学校の一部に中等学校が併設されることになり、女子を中心に、子供たちが安全に通学できるようになります。女子が中等教育を受けることは、出生率や早婚・妊娠の問題にプラスに働き、世代を超えた便益をもたらすことで、貧困削減の鍵となることが世界的に確認されています。

特集：<http://wrlld.bg/exsz30pVmhm>（英語）

■2000年から半減とは言え、今も6億7,000万人が屋外排泄

2000～17年、世界全体で屋外排泄はほぼ半減しました。インドでは55%減少したものの、その数はまだ世界で最も多く、ナイジェリアとインドネシアが続いています。屋外排泄は飲料水を汚染し、コレラや赤痢等の病気の感染を招きます。さらに人間としての尊厳が損なわれる上に、女性や女兒は身の安全も脅かされます。

ブログ：<http://wrlld.bg/3dUE30pVmiL>（英語）

■南アジア：海洋プラスチックごみの撲滅に向けて

モルディブでは、首都のマレだけで1日28万本ものペットボトルが捨てられるなど、プラスチックごみが自然環境を脅かしています。この問題は南アジア全域で深刻です。ただし、同地域では、草の根レベルから民間セクター、政策担当者まで、世界でも先進的な海洋プラスチックごみ対策がコミュニティ主導により進められています。

ブログ：<http://wrlld.bg/To0R30pVmjJ>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

世界銀行東京事務所 Eニュース 第671号 2019年11月15日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 世界銀行年次報告書 2019年度 日本語版発表
- (2) 世界銀行グループ、多数国間投資保証機関（MIGA）長官に俣野弘氏を任命
- (3) ブログ：廃棄物管理の新しい取組み：いかに廃棄物を削減しながら経済成長を実現するか
- (4) 特集：インドにおける「建築規制を活用した防災」ワークショップ
- (5) セミナーのお知らせ
- (6) 主なニュース

(1) 世界銀行年次報告書 2019年度 日本語版発表

世界銀行の2019年度日本語版 年次報告書を掲載しました。

本報告書では、「極度の貧困撲滅」と「繁栄の共有促進」という世界銀行グループの二大目標を2030年までに達成するための、包摂的かつ持続可能な成長、人への投資、強靱性の構築、の3つのエリアに焦点を当て、2019年度の各地域、分野別の活動成果をご紹介します。

年次報告書：<http://wrlld.bg/8zNE30pTjeF>

(2) 世界銀行グループ、多数国間投資保証機関（MIGA）長官に俣野弘氏を任命

世界銀行グループのデイビッド・マルパス総裁は11月11日、多数国間投資保証機関（MIGA）の長官に、日本人の俣野弘氏を任命すると発表しました。MIGAは、民間企業や金融機関に政治リスク保険や信用保証を提供し、途上国におけるクロスボーダー投資を促進している世界銀行グループの機関です。俣野氏は、2019年10月31日に世界銀行グループを退官した本田桂子氏の後任として、2019年12月16日付けでMIGA長官に就任します。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/CTMp30pTiFH>

(3) ブログ：廃棄物管理の新しい取組み：いかに廃棄物を削減しながら経済成長を実現するか

世界銀行の報告書によると、廃棄物の発生は2050年までに70%増加すると予測されています。都市は、増え続ける廃棄物を管理するため迅速に対応する必要がありますが、日本は経済成長を成し遂げながらも廃棄物を削減することに成功しています。中でも北九州市は廃棄物削減の好例として際立っており、1人あたりの廃棄物の発生量が最少の地域です。11月13日に北九州市で開催された国際シンポジウム「海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題とアプローチ」や、東京開発ラーニングセンター（TDLC）が開催する廃棄物管理に関する実務者研修会合（TDD）において、実際にどのように廃棄物を削減したのか知見が共有されています。

ブログ：<http://wrlld.bg/QPND30pTiNk>

(4) 特集：インドにおける「建築規制を活用した防災」ワークショップ

インドは自然災害による被害にたびたび苦しめられており、建物の強靭性を高める建築規制を施行することが優先事項の1つとなっています。2019年7月、「インドにおける建物の災害リスク軽減のための建築規制能力評価 (BRCA) ワークショップ」がデラー・ドゥーンにて開催されました。現地の規制枠組み、ステークホルダーが果たす責任、ステークホルダーグループ間での調整、そして規制の実施メカニズムに関するBRCAの評価結果を共有し、同評価の提言を具体的な行動に移す戦略について意見交換が行われました。

特集: <http://wrlld.bg/Ahhq30pTiIx>

(5) セミナーのお知らせ

■アフリカの鼓動: アフリカ経済動向分析2019年10月版
世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第26回

日時: 2019年11月19日(火) 午前7時45分~午前8時45分

場所: 世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容: 世界銀行の各地域総局では半年に1度(春と秋)、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告を発表しています。アフリカ地域総局が10月9日に発表した「アフリカの鼓動: アフリカ経済動向分析2019年10月版」(Africa's Pulse: An Analysis of Issues Shaping Africa's Economic Future – October 2019, Volume 20) について、セザール・カルデロン世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室リード・エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み: <http://wrlld.bg/yt7N3OpMbY0>

■激化する災害対応としての防災移転—多様性とジェンダー視点から
2019国際シンポジウム

日時: 2019年11月20日(水) 午後1時~午後4時

場所: 世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容: 日本では、2011年の東日本大震災以降、被災地において高台への防災移転が行われています。同様に、アメリカやアジア諸国においても集団による防災移転や復興まちづくりが、地方政府や市民社会団体などにより行われています。本シンポジウムでは、防災移転を通じたまちづくりについての国際比較を通じて、防災移転の政策的課題や災害対応としての妥当性や有効性について検証します。特に多様性とジェンダー視点に立つことの意義とチャレンジについて考えます。

詳細・お申込み: <http://wrlld.bg/vp0i30pR2Sw>

■世界開発報告(WDR)2020: グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進
世界銀行グループ、JICA研究所共催セミナー

日時: 2019年11月25日(月) 午後4時~午後6時

場所: 世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容: 世界銀行グループでは毎年1回、経済、社会、環境などタイムリーなテーマを取り上げ、課題分析と政策提言をまとめる「世界開発報告」(WDR: World Development Report) を出版しています。10月9日「グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進」をテーマにしたWDR2020年版が発表されました。WDR2020の執筆担当共同局長の一人であるアディティヤ・マトゥー世界銀行東アジア地域担当チーフエコノミストが、同報告書の主なポイントをご紹介しますセミナーを開催します。

詳細・お申込み: <http://wrlld.bg/pbo430pTiWU>

■一次産品市場の見通し 2019年10月版
世界銀行モーニングセミナー(第53回)

日時：2019年11月27日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行が毎年2回発行する報告書「一次産品市場の見通し 2019年10月版」の最新版が10月29日に発表されました。同報告書では、エネルギー価格と金属価格は2019年の急落に続き、2020年も引き続き下落するとの見通しを明らかにしています。本セミナーでは、同報告書を含め、世界銀行の一次産品価格・市場に関する分析のとりまとめを担当するジョン・パフェス世界銀行マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス見通しグループ上級農業エコノミストがテレビ会議でワシントンより、同報告書の主なポイントを紹介し、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/uPcB30pTj11>

■アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す

世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第27回

日時：2019年12月10日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行が7月に発表した報告書「アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す」では、仕事をめぐる環境を根本的に変化させうる技術進化や破壊的な革新に途上国が直面しつつあるなかで、サブサハラ地域は他の地域以上にデジタル技術の適応がもたらす恩恵を享受することができると述べています。本セミナーでは、テレビ会議で同報告書の執筆担当者が主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/qMZN30pTj3n>

■国際金融公社（IFC）で働く～玉木 圭 インベストメント・オフィサー

キャリアセミナー

日時：2019年12月18日（水）午後6時30分～午後8時

場所：米州開発銀行 アジア事務所

内容：世界銀行グループでは、日本人の採用を積極的に行っており、海外で活躍する日本人職員が来日する際に、皆様に世界の開発課題や世界銀行グループの活動を紹介するセミナーを実施しています。

今回のセミナーでは、2018年のリクルートミッションで採用されたインベストメント・オフィサーの玉木圭より、IFCの活動や自身の経歴、投資部門での業務をご紹介します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/woR630pTj4Q>

(6) 主なニュース

■ラオス人民民主共和国：子供の栄養不良対策等のマルチセクター・アプローチを発表

世界銀行の支援の下、農村部の貧困・栄養不良削減と、水・衛生の2つのプロジェクトが発表されました。国全体で5歳未満児の3人に1人以上が栄養不良状態にあり、重度の場合は脳の発達、学業成績、将来的な就職に悪影響が及び、ひいては貧困からの脱却が困難になります。両プロジェクトは、栄養不良が特に深刻な北部4つの県が対象です。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/OVCi30pTitt>（英語）

■バングラデシュ：ロジスティック向上による輸出拡大の可能性

世界銀行は11月13日、バングラデシュに関する報告書を発表し、物流システムの効率化により、輸出量を大幅に拡大し、既製服と繊維生産の首位の座を維持し、雇用を拡大できると指摘しました。また、道路や港湾の渋滞、割高な物流コスト、インフラの不備、機能していないガバナンス等がこの国の競争力を削ぎ、高度成長がリスクに晒されているとしています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/hHmL30pTiul>（英語）

■学習貧困の撲滅：読み書き能力向上に向けた取組みの加速を

授業を受けた子供たちが結果的に学びを得ていないなど、世界は今、学習危機のただ中にあります。世界銀行は新たに、文字が読めず、簡単な物語を理解することができない10歳児の比率を示す「学習貧困」というコンセプトを導入しました。学習貧困を2030年までに少なくとも半分にまで削減するという新たな学習目標の達成に向けて取り組んでいきます。

ストーリー：<http://wrlld.bg/DcPO30pTiuq>（英語）

■貧困率削減が最も進んだ国は？

世界銀行は、極度の貧困の撲滅を目標の一つに掲げています。具体的には、2011年購買力平価（PPP）換算で1日1.90ドル未満で暮らす人の数を2030年までに3%未満にまで減らすという目標です。1990年以降、大きな進歩が見られてきましたが、貧困削減が最も進んだ国はどこかをデータと共にご紹介します。

ブログ：<http://wrlld.bg/n1k030pTiuT>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

【世界銀行東京事務所 Eニュース 670号】報告書「世界金融開発報告2019～2020」発表：途上国の銀行制度の改善には情報開示と監督能力の強化が不可欠、他

世界銀行東京事務所 Eニュース 第670号 2019年11月8日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 報告書「世界金融開発報告2019～2020」発表：途上国の銀行制度の改善には情報開示と監督能力の強化が不可欠
- (2) 世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）のウェブサイトがオープン
- (3) 特集：スリランカとモルディブにおける「建築規制を活用した防災」ワークショップ
- (4) セミナーのお知らせ
- (5) 主なニュース

- (1) 報告書「世界金融開発報告2019～2020」発表：途上国の銀行制度の改善には情報開示と監督能力の強化が不可欠

世界銀行が11月6日に発表した報告書「世界金融開発報告2019～2020：世界金融危機から10年―途上国の銀行規制と監督（仮題）」は、途上国の金融制度の改善には情報開示と監督能力の強化が不可欠、と指摘しています。世界銀行は、世界160カ国の銀行規制と監督の状況を調査し、その結果をデータベース化して公開しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/aDTB30pR2PO>

報告書：<http://wrlld.bg/ci0430pR2Q2>（英語）

- (2) 世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）のウェブサイトがオープン

東京開発ラーニングセンター（TDLC）プログラムは、日本と世界銀行のパートナーシップの下、2004年6月にスタートしました。TDLCが実施する都市間パートナーシッププログラム（CPP）、知識共有、業務支援などの活動や、都市開発にかかる学習プログラムの開発および提供、国際会議やその他知識共有イベント、出版物、動画などについて、下記ウェブサイトでご紹介しています。どうぞご覧ください。

世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）ウェブサイト：<http://wrlld.bg/58qt30pR4Ed>

- (3) 特集：スリランカとモルディブにおける「建築規制を活用した防災」ワークショップ

スリランカとモルディブでは、頻発する自然災害による人々の暮らしへの悪影響やインフラの破壊のほか、急速な都市開発が品質管理の乏しい状況で行われるため、建物の倒壊や建設事故が発生しています。日本―世界銀行防災共同プログラムでは、世界銀行東京防災（DRM）ハブおよび防災グローバル・ファシリティ（GFDRR）が代表し、両国が建築規制を活用した防災（BRR）プログラムを通じて建築都市環境における安全性と強靭性を強化できるよう支援しています。2019年7月に、モルディブのマレにて「建築規制能力評価（BRCA）に基づく行動計画策定ワークショップ」が開催されました。

特集：<http://wrlld.bg/fUW430pR2QV>

- (4) セミナーのお知らせ

■海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題とアプローチ
国際シンポジウム

日時：2019年11月13日（水）午後2時～午後6時

場所：北九州国際会議場 メインホール<https://convention-a.jp/access/>

内容：世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）は北九州市及び公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）とともに、海洋プラスチックごみ問題に関する国際シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムは国内外の自治体関係者や環境分野の専門家、実務者が集う、知見共有とネットワーク構築のプラットフォームを提供・構築することを目的としており、海洋プラスチックごみに関する2つのテーマ「海洋プラスチックごみ管理における国内外の課題と取組み」と「海洋プラスチックごみ管理における官民連携」について議論します。当日は開会、基調講演、パネルセッション①をTDLCのFacebookページでライブストリーム配信致します。下記リンクよりご覧ください。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/q3Ht30pJKUs>

ライブストリーム配信：<https://www.facebook.com/WBGTDLC/>

■世界銀行グループと日本のパートナーシップ：日本人職員に求められる貢献（ニューヨーク開催）
キャリアセミナー

日時：2019年11月14日（木）午後6時30分～午後8時30分（ニューヨーク時間）

場所：米国ニューヨーク 国際連合日本代表部 会議室 <http://ow.ly/1a1030pR2TN>

内容：ニューヨークにて世界銀行と国際連合日本政府代表部の共催によるキャリアセミナーを開催します。世界銀行職員が登壇し、世銀グループの最近の動向、世銀の各種採用プログラムや最新の求人動向についてご説明します。国際機関での就職にご関心のある方は、ぜひご参加ください。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/q3Ht30pJKUs>

ライブストリーム配信：<https://www.facebook.com/WBGTDLC/>

■アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2019年10月版
世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第26回

日時：2019年11月19日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行の各地域総局では半年に1度（春と秋）、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告を発表しています。アフリカ地域総局が10月9日に発表した「アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2019年10月版」（Africa's Pulse: An Analysis of Issues Shaping Africa's Economic Future – October 2019, Volume 20）について、セザール・カルデロン世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室リード・エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/yt7N30pMbY0>

■激化する災害対応としての防災移転—多様性とジェンダー視点から
2019国際シンポジウム

日時：2019年11月19日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：日本では、2011年の東日本大震災以降、被災地において高台への防災移転が行われています。同様に、アメリカやアジア諸国においても集団による防災移転や復興まちづくりが、地方政府や市民社会団体などにより行われています。本シンポジウムでは、防災移転を通じたまちづくりについての国際比較を通じて、防災移転の政策的課題や災害対応としての妥当性や有効性について検証します。特に多様性とジェンダー視点に立つことの意義とチャレンジについて考えます。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/yp0i30pR2Sw>

(5) 主なニュース

■ 厳しい経済金融情勢と社会不安を抱えるレバノン：状況は今後さらに悪化か

経済の悪化により貧困率は50%に届きかねず、若者を中心に失業率はさらに大きく悪化する恐れがあります。経済危機の際には、貧困層・中産階級が特に大きな打撃を受ける傾向にあるため、この流れをただちに食い止め、経済への信頼性を取り戻さなければなりません。世界銀行は、誕生間もない新政権に対し、可能な限りの支援を行う用意があります。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/W0md30pR2UO>（英語）

■ 屋内の空気を汚さない調理器具の重要性

クリーンな調理器具・燃料への移行ペースを上げることは、持続可能な開発目標（SDGs）の目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」の達成に極めて重要であり、官民両セクターからの資金と幅広い参加が不可欠です。世界銀行は、2030年までにクリーン調理器具へのアクセス普及を進めるため、クリーン・クッキング・ファンドを設置しました。

特集：<http://wrlld.bg/VIqu30pR2Vg>（英語）

■ ジンバブエ：根深い貧困のわなに対応するには？

ジンバブエの根深い貧困は、マクロ経済や天候面のショックだけが原因ではなく、農村部に点在する深刻な貧困のわなによるものだと、世界銀行は最新報告書の中で指摘しており、辺鄙なコミュニティの孤立解消に向けた道路や通信インフラの整備と、教育・保健といった社会サービスの普及が不可欠であるとしています。

ブログ：<http://wrlld.bg/nkMu30pR2VU>（英語）

■ アフガニスタン：極度の貧困世帯に生計手段確保の機会

世界銀行の基金で、最貧困層を支援する国際開発協会（IDA）によるプロジェクトの一環として、極度の貧困層を対象とするプログラムの下、バルフ州の世帯に家畜が提供され、研修が行われた結果、持続可能な生計手段を得ることができました。また、各種の行政サービスにもアクセスできるようになっています。

特集：<http://wrlld.bg/F1xm30pR2We>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

世界銀行東京事務所 Eニュース 第669号 2019年11月1日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 世界銀行がソブリンESGデータポータルを開設
- (2) 「一次産品市場の見通し」2019年10月版発表：世界経済の成長見通しの悪化と供給過剰の継続を受け、一次産品の価格見通しを下方修正
- (3) ブログ：開発にIDAが果たす役割がますます重要に
- (4) ブログ：インドネシアの都市型洪水に対する強靱化
- (5) セミナーのお知らせ
- (6) 主なニュース

(1) 世界銀行がソブリンESGデータポータルを開設

世界銀行は10月29日、誰もが国レベルの環境・社会・ガバナンス（ESG）データを入手できる、オープンで使いやすい無料のオンラインプラットフォーム、ソブリンESGデータポータルを立ち上げました。本ポータルは、各国の政策や国内の状況をバランスよく映し出すために選ばれた17の指標で構成されており、フレームワークには計67の指標が組み込まれ、17の持続可能な開発目標（SDGs）を全て網羅しています。本ポータルは、投資家が持続可能な開発政策の主要目標に沿ったESG分析を実施できるよう支援するものであり、新興市場や途上国への民間セクターからの投資を促進することを目的としています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/Fefz30pOC7U>

ソブリンESGデータポータル：<http://wrlld.bg/Ho3E30pOC83>

(2) 「一次産品市場の見通し」2019年10月版発表：世界経済の成長見通しの悪化と供給過剰の継続を受け、一次産品の価格見通しを下方修正

世界銀行は、10月29日に発表された「一次産品市場の見通し」2019年10月版の中で、世界経済の成長見通しの悪化と需要の減退により、エネルギー価格と金属価格は2019年の急落に続き、2020年も引き続き下落するとの見通しを明らかにしました。

世界経済の失速を受け、原油価格は、2019年は1バレル当たり平均60米ドル、2020年は平均58米ドルになる見通しであるとし、今年4月の見通しから2019年は1バレル当たり6米ドル、2020年は7米ドル低い予測値となりました。金属価格についても2019年は5%下落し、2020年も下落が続くと見込まれます。農産物価格は、2019年は下落が見込まれるものの、2020年には安定する見通しであるとしています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/GhNP30pOC86>

報告書：<http://wrlld.bg/IDMv30pOC8d>（英語、PDF）

(3) ブログ：開発にIDAが果たす役割がますます重要に

この25年間に、極度の貧困を削減する取組みは確実に進展し、世界人口に占める貧困層の割合は1990年の36%から、2018年には推定8.6%まで縮小されましたが、世界の最貧国では、依然として多くの人々が極度の貧困状態にあり、1日1.90ドル未満で暮らす人の割合は31%に達しています。国際開発協会（IDA）は、12月に予定されている第19次増資（IDA19）の妥結に向け、他のパートナーと共に増資交渉を進めています。国際金融公社（IFC）フィリップ・ル・ウェルー長官、アントワネット・サエ世界開発センター（CGD）特

別招聘研究員のブログをご覧ください。

ブログ：<http://wrlld.bg/shCY30pOC8I>

(4) ブログ：インドネシアの都市型洪水に対する強靱化

過去20年にわたりインドネシアでは、洪水が他のどの災害よりも多くの被災者を出しており、甚大な被害を及ぼし、地元および地域経済を混乱させてきました。インドネシア政府と世界銀行は、防災グローバル・ファシリティ（GFDRR）およびインドネシア持続可能な都市化のためのマルチドナー信託基金（Indonesia Sustainable Urbanization Multi-Donor Trust Fund）からの資金協力を得て、連携して国家的都市型洪水に対する強靱化計画を作成します。洪水に対する強靱化のための都市計画アプローチは、成長するインドネシアの都市全体にさまざまな方面での便益をもたらすことが期待されています。

ブログ：<http://wrlld.bg/tGiw30pOC8s>

(5) セミナーのお知らせ

■南アジア経済報告：中央 / 地方分権化を機能させる
世界銀行モーニングセミナー（第51回）

日時：2019年11月5日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行の各地域総局では半年に1度（春と秋）、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告を発表しています。南アジア総局が10月13日に発表した「南アジア経済報告：（分）権化を機能させるために」（South Asia Economic Focus: Making (De)centralization Work）を取りまとめたハンス・ティマー 世界銀行 南アジア地域担当チーフエコノミストおよびロバート・ベイヤー 世界銀行南アジア地域総局チーフエコノミスト室 エコノミストがワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します。皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/vFoC30pMbWD>

■海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題とアプローチ
国際シンポジウム

日時：2019年11月13日（水）午後2時～午後6時

場所：北九州国際会議場 メインホール <https://convention-a.jp/access/>

内容：世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）は北九州市及び公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）とともに、海洋プラスチックごみ問題に関する国際シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムは国内外の自治体関係者や環境分野の専門家、実務者が集う、知見共有とネットワーク構築のプラットフォームを提供・構築することを目的としており、海洋プラごみに関する2つのテーマ「海洋プラごみ管理における国内外の課題と取組み」と「海洋プラごみ管理における官民連携」について議論します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/q3Ht30pJKUs>

■アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2019年10月版
世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第26回

日時：2019年11月19日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行の各地域総局では半年に1度（春と秋）、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告を発表しています。アフリ

カ地域総局が10月9日に発表した「アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2019年10月版」(Africa's Pulse: An Analysis of Issues Shaping Africa's Economic Future – October 2019, Volume 20) について、セザール・カルデロン世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室リード・エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。
詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/yt7N30pMbY0>

(6) 主なニュース

■バングラデシュ：安全な水と衛生のために世界銀行が1億ドルを支援

世界銀行は10月30日、バングラデシュ政府と、給水、衛生、排水の改善に1億ドルを支援することで合意に至りました。対象となるのは、およそ60万人が暮らす30の自治体で、官民パートナーシップを通じ、水処理施設、貯水、水道網、一般家庭への給水、さらには低所得地区における衛生施設の向上に充てられる予定です。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/zMyp30pOA6y> (英語)

■ケニア：包摂的成長を持続するための政策を一世界銀行報告書

世界銀行は10月31日「ケニア経済報告書」を発表し、農業生産と民間投資の低迷により2019年の実質GDPが低下したと指摘しています。財政再建努力にもかかわらず財政赤字は目標を上回っており、歳入拡大、支出抑制、政府債務見直しの他、生産性向上のための構造改革として教育の質改善、女性の地位向上、デジタル化などが求められています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/k2oe30pOA6M> (英語)

■ザンビア：農地への象の侵入を防ぐため、天然由来の障害物を活用

象をはじめとする野生動物が食糧を求めて農地を荒らすようになってきています。世界銀行のバイオカーボン・ファンド・イニシアティブの下、唐辛子で作った柵など天然素材を使って作物を象から守ると同時に、野生生物の保護が図られています。最終的に、持続可能な農法による二酸化炭素排出量削減、農村部の生活の質向上、天然資源の保護を目指します。

特集：<http://wrlld.bg/P8Ld30pOA6A> (英語)

■プロジェクトの進捗状況をモニタリングする新たな方法やツール

世界銀行が開発したSWIFTは、プロジェクト進捗状況を、機械学習を用いて低価格かつタイムリーに把握するツールです。携帯電話等で受益者から直接聞き取り調査を行うIBMは、5,000ドル未満のコストで、4週間以内に約10ページの報告書をまとめることができ、脆弱・紛争地域などデータ収集が難しい状況で効果的です。

ブログ：<http://wrlld.bg/o1h230pOA6V> (英語)

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>